

新規・継続別	新規	分野	ため池の補強等	事業番号	3	事業名	県営ため池等整備(特定農業用管水路)					
市町村名	朝日村		(ふりがな) 箇所名	かんせんにしせば 幹線西洗馬			事業年度 (完了年度は見込み)	H23年度 ~ H24年度				
事業概要	計画概要 (延長・巾・面積・工種など)	管水路改修 L = 700m 水管橋補修 N = 1箇所				H22年度末事業進捗率		0%				
	H23年度以降降実施内容	同上				本工事費ベース		0%				
	H23年度実施内容	管水路改修 L=400m				用地補償費ベース		-				
	年度	全体事業費	H21年度まで	H22年度	H23年度要求額	H23年度以降降						
	事業費計(千円)	50,000	0	0	18,632	50,000						
	財源内訳	国庫支出金	25,000	0	0	9,316	25,000					
		その他	7,500	0	0	2,795	7,500					
県債		15,000	0	0	5,000	15,000						
一般財源		2,500	0	0	1,521	2,500						
事業評価	区分	評価項目・指標等	評価			部評価 ランク	部評価 評点	政策評価 ランク	政策評価 評点			
	必要性 (20)	受益面積	100ha以上	20ha以上~100ha未満	20ha未満	A	3	A	3			
		施設危険度	人家への災害が予想される	農地への災害が予想される	災害が予想されない		15		15			
		小計					18		18			
	重要性 (20)	水利施設としての依存度	依存度100%(他に水系なし)	依存度50%以上100%未満	依存度50%未満	A	10	A	10			
		市町村計画での位置付け	位置付けあり	位置付けなし			5		5			
		県農政の重要施策への取組み	2つ以上推進している	1つ推進している	取組みなし		5		5			
	小計					20	20					
	効率性 (15)	費用対効果(B/C)	B/C1.2以上	B/C1.1以上~1.2未満	B/C1.0~1.1未満	B	5	B	5			
		早期発現度(効果発現まで)	5年以内	6年以上10年未満	10年以上		5		5			
		地域特有の取組みをしている	2項目以上	1項目	なし		1		1			
	小計					11	11					
	緊急性 (25)	農業被害	5年に2回以上	5年に1回	なし	B	7	B	7			
		農業用管水路の破管数	0.5箇所以上/ha	0.3~0.5箇所以上/ha	0.3箇所未満/ha		10		10			
		維持管理費節減	50%以上	30%以上50%未満	30%未満		1		1			
	小計					18	18					
	計画熟度 (20)	地域からの要望	地域住民の内発的な活動が強い	市町村からの要望がある	特に要望ない	B	6	B	6			
		事業情報の共有	関係者以外に広く周知	関係者を中心に周知	特に周知してない		3		3			
		住民参加の状況	住民が計画策定に直接参加	住民や市町村の意見を計画策定に反映	住民意見は反映していない		4		4			
	小計					13	13					
費用対効果(B/C)		1.20	評価項目の合計			A	80	A	80			
事業周辺環境	事業に至る歴史的経緯・社会的背景	本地区の幹線管水路は昭和40年代に石綿管で整備されたが、施設の老朽化にともなう漏水や破損が懸念されるため、段階的に塩ビ管等への更新整備を進めている。今回、一級河川鎖川を挟む区間について幹線管水路の更新整備を行うとともに、河川を横断する水管橋の補修を行い、当幹線管水路全線の更新整備を完成する。										
	地域からの要望経緯	平成20年度に中信平右岸土地改良区から朝日村に要望があり、これを受け、県、村において調査・検討を始める。										
	事業説明等の経緯	平成18年11月に関係者を対象に説明会を行い事業について合意形成を図っている。また、平成20年10月に中信平右岸土地改良区で事業内容について了解が得られている。本地区の事業計画について平成22年8~9月に地域住民への説明会を開催している。										
	環境・景観への配慮項目 他事業・プロジェクトとの関連	工事を行うための仮設道路については範囲を最小限に留め、河川周辺等の動植物の生息環境への影響を抑える。 県営畑地帯総合整備事業 朝日地区(H5~H20) 県営かんがい排水事業 中信平地区(S42~H2)										
	特記事項	特になし。										
地域の合意形成		全員賛成	概ね賛成	過半数賛成	動向不明	その他						
部意見	石綿管や水管橋の老朽化により破管の危険性が高まっており、用水の安定確保と災害防止のため、管路の早急な改修が必要である。			政策評価課意見	重要性が高く、必要性も認められる。							